

◆K2（ケイツー）シロップ

当院では産まれた赤ちゃんにK2シロップを生後1日目、5日目、1ヶ月健診のタイミングで計3回内服させていましたが、4月からは1週間毎に3ヶ月間内服する方法に変更します。

K2シロップとは、ビタミンKを含むお薬で、ビタミンK不足によって起こる出血を予防するためのものです。出血をした時、血液を固める為にはビタミンKが必要です。大人は腸内細菌が作ったビタミンKが利用されるため、ビタミンK欠乏になることは滅多にありません。しかし、産まれてすぐの赤ちゃんは腸内細菌が未発達の為、腸内でビタミンKが作られません。ビタミンKは胎盤を通りにくいこと、出生時に蓄えられないこと、母乳に含まれるビタミンKの割合が少ないことから、出血予防の為にビタミンKを補う必要があります。

病院では、生後1日目・5日目、1ヶ月健診の時に飲ませます。退院した翌週水曜日から毎週飲ませて下さい。（当院では便宜上、退院後は水曜日に飲んでいただいています。）1ヶ月健診がある週の水曜日は飲ませないで下さい。



ご自宅での飲ませ方

＜スプーンで飲ませる場合＞
スプーンに原液シロップを少しずつ取り分けて、赤ちゃんの口に流し込んでください。
ほほの内側に垂らす様に流し込むとよいです。



必ず哺乳びんやスプーンなどに移して飲ませてください。スティックのまま飲ませると、赤ちゃんのくちびるを傷つけたり、まちがって気道に入ることがあります。

飲ませ方の注意

- ・使用直前に開封し、1回で使いきってください。
- ・他のお薬と混ぜないでください。
- ・目、鼻、耳に入らないように注意してください。

こんなときは・・・

- お薬を吐いたり、飲み残したとき
- お薬がこぼれてしまったとき

半分以下しか飲んでいないと思われるときは、次回の分を飲ませてください。次回の分をお持ちでない場合や、追加の使用で足りなくなった分に関しては、主治医にご相談ください。



【よくあるご質問】

Q 退院後の水曜日に飲ませると、飲まない週がありますが大丈夫でしょうか。

A 帝王切開の方は飲まない日があったり、経膈分娩の方は一週間経たずに内服することもありますが、問題ありません。

Q 飲ませるのを忘れてしまいました。

A 気付いた時点でできるだけ早めに飲ませて下さい。忘れてしまったからと言って、一度に二回分飲ませることは避けましょう。

混ぜても良いもの

- ・湯冷まし
- ・母乳
- ・ミルク



10mL以下で赤ちゃんが飲みきれぬ量に調整してください。

Q ほぼ人工乳ですが、K2シロップは飲まないといけませんか？

A 人工乳が半分以上の場合は、1ヶ月健診以降、内服を中止してもよいとされていますが、ビタミン剤の経口投与によるビタミンK過剰症は報告されていないため、処方された分は飲ませることをお勧め致します。

Q シロップをこぼしたり、吐いたりした場合はどうしたらいいですか？

A 半分以下しか飲んでいないと思われるときは、次回分を飲ませて下さい。追加の使用で足りなくなった分は小児科医にご相談下さい。

◆今月の赤ちゃん



出生後、すぐにおっぱいを飲んでる姿を撮らせていただきました。出産後できるだけ早いうちに授乳をすることは、母乳分泌開始の時期を早めたり、分泌量が増加すると言われています。そのため、当院ではママと赤ちゃんが元気であれば、母乳分泌の有無に関わらず、できるだけ早く授乳をするよう心がけています。（写真はママの許可を頂いて掲載しています）

◆お知らせ

新年度となり、新しく金（きん）医師が着任致しました。曜日別の担当医も変更しています。来月号で詳細をお伝えしますが、HPの外来診療表にも掲載していきますので御覧ください。